

平成30年12月11日

只見町議会議長 齋藤 邦夫 様

総務厚生常任委員会
委員長 藤田 力

総務厚生常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

記

1. 所管事務調査事項

- (1) 新たな自主財源の確保に関する調査
- (2) 只見町国民健康保険朝日診療所の経営に関する調査
- (3) 事務の適正管理と職員の健康管理に関する調査

2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 所管事務に関する調査
- (2) 調査方法 事務調査
- (3) 調査日 11月9日、11月30日
- (4) 出席委員 藤田力委員長、中野大徳副委員長、鈴木征委員、佐藤孝義委員、山岸国夫委員、齋藤邦夫委員

3. 調査結果及び意見

① 議会機能と議員定数に関する審議について

9月11日の委員会で議員定数やアンケートについて提案ありましたが「全員で議論すべき」との意見により議会機能と議員定数について全員協議会で話し合うことに決めました。

② こぶし苑訪問リハビリ一時休止について

年度当初、町職員2名と南会津会の臨時職員2名で対応していたが退職や体調不良により一時休止の状況となった。当面、施設内リハビリの取り組みとする。なお、南会津会では、理学療法士または作業療法士1名を募集中である。

現在、募集はしているものの通所リハでは回数制限の状況にありスタッフの充実が重要である。

③ 介護施設の改修工事の調査について

こぶし苑のエレベーター・浴槽や只見ホームの機械浴槽・大型洗濯機・乾燥機・電話工事・LED化など多額に上る。施設管理者は、綿密な年次計画を立て、改修すべきである。

④ 腎臓透析患者の通院について

町から南会津病院への通院に燃料代補助が出ている。冬季間の通院に難儀されている。通院バスの支援を早急に検討する必要がある。南会津町との協議も含め次回の委員会までに検討結果の報告を求めた。

⑤ 職員の超勤と健康管理について

監査からの指摘もあり、担当課長に対応を調査した。結果、超過勤務の縮減が見られる。ストレスチェックの実施も報告された。

一定の職員に偏っていることやトップの厳しく明確な姿勢が必要、民間委託の検討などを話し合った。

以上